



第56回 四万十町窪川ロードレース大会 開催

2月3日に、窪川ロードレース大会が開催されました。

この大会は小学5・6年生から壮年の部までの11部門で競われる大会です。

当日は高知県内から集まった100人(申し込み136人)が日ごろの練習の成果を発揮した力走を見せてくれました。

小学5・6年男子の部(2km)

順位	氏名	所属	学年	記録
1	木村 響	窪川小学校	6	7分19秒
2	山崎 新大	窪川SC	5	7分28秒
3	谷脇 慈久	窪川JRC	5	7分30秒
4	公文 翔太	春野東小学校	5	7分33秒
5	半山 大雅	大月小学校	6	7分36秒
6	田中 順晟	高知橋クラブ	6	7分50秒

小学5・6年女子の部(2km)

小学5・6年女子の部(2km)

順位	氏名	所属	学年	記録
1	嵐 花	アスリートすくも	5	7分41秒
2	豊田 梨心	大月小学校	6	7分51秒
3	武田愛里好	大月小学校	6	8分05秒
4	板岡 燕	窪川小学校	5	8分05秒
5	宮本 朋果	窪川JRC	6	8分16秒
6	高木 葵	高知橋クラブ	6	8分22秒

中学1年男子の部(3km)

順位	氏名	所属	学年	記録
1	中山 雄太	春野中学校	1	10分58秒
2	後藤 拓歩	吉良川中学校	1	11分10秒
3	藤田 和風	窪川中学校	1	11分21秒
4	森田 康平	窪川SC	1	12分43秒
5	谷 勇人	窪川SC	1	13分07秒

中学女子の部(3km)

順位	氏名	所属	学年	記録
1	嵐 杏心	宿毛中学校	2	10分47秒
2	白木 ひなの	市立中村中学校	2	10分53秒
3	吉松 真穂	大月中学校	2	11分14秒
4	戸梶 和	日高中学校	2	11分45秒
5	岡崎 柚胡	市立中村中学校	1	11分46秒
6	田所 纏	日高中学校	3	12分07秒

中学2・3年男子の部(5km)

順位	氏名	所属	学年	記録
1	浜口 愛夢	香我美中学校	3	16分11秒
2	岸本 遼太郎	市立中村中学校	3	16分16秒
3	土居 雅季	香長中学校	3	16分17秒
4	山岡 秀	市立中村中学校	3	16分29秒
5	公文 拓翔	春野中学校	2	16分30秒
6	有光 勇太	市立中村中学校	2	16分38秒

高校女子の部(5km)

順位	氏名	所属	学年	記録
1	福田 サラ	幡多農業高校	2	19分11秒

高校男子の部(10km)

順位	氏名	所属	学年	記録
1	篠川 史隆	幡多農業高校	2	33分22秒
2	川上 依武輝	高知農業高校	3	33分47秒
3	十萬 尊琉	高知工業高校	2	34分30秒
4	浜口 夢楽	高知高専	1	35分05秒
5	須藤 匡人	高知工業高校	2	35分15秒
6	脇本 凌	幡多農業高校	2	35分35秒

一般女子の部(5km)

順位	氏名	所属	年齢	記録
1	揚田 奈穂	四国銀行	37	21分22秒

壮年女子の部(5km)

順位	氏名	所属	年齢	記録
1	山根 幸	まるRC	43	25分30秒

一般男子の部(10km)

順位	氏名	所属	年齢	記録
1	竹村 俊斗	窪川陸上クラブ	22	36分10秒
2	森澤 安倫	高知市	39	36分43秒
3	川瀬 純司	佐川町	32	37分00秒
4	岡本 侑大	窪川陸上クラブ	21	37分55秒
5	金子 仁	ちいむさお	40	38分14秒
6	武田 真幸	窪川陸上クラブ	34	38分35秒

壮年男子の部(5km)

順位	氏名	所属	年齢	記録
1	嵐 英樹	アスリートすくも	49	18分42秒
2	遠藤 紀元	いの町	45	18分46秒
3	中平 伸幸	窪川陸上クラブ	56	18分55秒
4	東岡 嗣典	高知市	63	23分40秒
5	市川 清明	四万十町	69	25分10秒
6	上岡 聖司	中土佐町	63	25分16秒

季節の風景 4月

改元 かいげん

平成31年
火曜日 30 4月
退位の日

平成31年4月30日、今上天皇陛下の退位による平成の幕引き、そして改元とともに皇室が「次代」を迎える時がまもなくやってきます。1817年の光格天皇以来、約200年ぶりの退位による皇位継承です。

経済成長を謳歌した時代から低成長時代への転換。二度の大震災をはじめとする自然災害の多発や、オウム真理教による地下鉄サリン事件。人口減少時代が始まり、経済規模で中国に抜かれ、周辺国との摩擦も増大した平成の時代。国外に目を向けると、ベルリンの壁崩壊、ソビエト連邦の解体、湾岸戦争、同時多発テロなどの世界の変転。そして、2001年(平成13年)の始まりには西暦における二十世紀から二十一世紀への世紀の転換期でもありました。

30年112日(1万1069日間)に渡った平成は、日本の元号では昭和(64年)・明治(45年)・応永(35年)に次いで四番目の長さになります。そして、5月1日には象徴の務めは新天皇へと引き継がれていきます。

さまざまなこと思い出す桜かな 松尾芭蕉

今月の 得意なことを仕事にする!



▲手際抜群! 得意なことであることがよくわかります!

昨年夏、小龍さんは北琴平町で奥様と中華料理店をオープンしました。実は「料理が好きで好きで」というわけではなかったそうです。「僕が一番得意なことはこれだったから」と笑う小龍さん。「得意なこと」好きなこと」という人が多いと思うのですが、小龍さんは「得意なこと」仕事にすべきことだと言います。なるほどそうだが、好きなことを仕事にした場合、思うようにいかないとストレスが溜まるけれど、得意なことを仕事にすれば、ストレ

スが少なく済むのかもしれない。上海から鉄道などで8時間ほどのところにある福建省・福清市で、小龍さんは生まれ育ちました。そして16歳の時に南米のエクアドルに渡りました。その数年前から、お父さんがエクアドルでレストランを開業して、それを手伝うためだったそうです。レストランはなかなか忙しく繁盛していましたが、10年後に家で福清市に戻りました。その頃に、中国留学を目指していた現在の奥様である綾香さんとの交流が始まりました。

綾香さんが念願の中国留学を実現させ、上海の空港に降り立った時に小龍さんが出迎えました。それまでのやりとりでお互いに好感を持っていた二人。実際3カ月で小龍さんがプロポーズ。故郷の四万十町でゲストハウスを開くという夢があった綾香さんの希望を、小龍さんがあっさり受け入れ結婚。そして二人で帰国。しばらく神戸で働き、資金を貯め帰郷。綾香さんはゲストハウスの開き、さらに小龍さんの特技を生かし、中華料理店開業となりました。

綾香さんは「料理が大好きというわけではないけど、そうは見えない(笑)」と言います。さらに「でも、得意であることは間違いないですね!」

「得意なことを仕事にするのが当然」というシンプルな考えに、小龍さんの「生きる力」を見ました!



シ ヶオロン 施 小龍さん